

## 2014年度 冬季研修会

### 参加された方のアンケート集約

#### 1、各分科会について

##### A 困っている子どもの背景と支援 ～ 矯正教育の現場から

宮川医療少年院 宮口 幸治氏

- ◎ 非常にわかりやすい講義で実際に現場で試してみようと思える方法を数多く例示していただきありがたいと思いました。加害者にならないために今できることをできるだけしていきたいと思います。そのための自分のスキルアップ（見分ける方法、療法）をしていきたいのでこのような講座（宮口先生のような実際の治療の現場での話）をまた開いてください。
- ◎ 暴力、暴言等「問題」とされる子どもへの具体的な支援のあり方を提示していただきありがとうございました。私の学校でも少しでも先生の実践方法などを取り入れていきたいと思います。
- ◎ 問題行動を起こす子どもがかかえる背景についてわかりやすく説明があり、また、様々なトレーニングの具体例の紹介があり大変勉強になりました。早速学校の教育活動に取り入れたいと思いました。
- ◎ 宮口先生のお話はとても分かりやすく良かったです。物腰が柔らかくとても心に身体にしみました。ワークショップもあってすぐに実践として使われるものがたくさんあって良かったです。
- ◎ とてもわかりやすい内容で良かったです。話の中で「そう、そう」と思い当たる子どもたちがたくさんいました。トレーニングで脳の機能もきたえることで認知能力、適応能力が向上していくという事例を見て、希望が生まれました。
- ◎ 困っている子どもたちへの配慮なしに日々授業を進めていることがよくわかり、反省です。
- ◎ 具体的な困難の事例とその対応を聞くことができ、大変参考になりました。子どもを理解するということはこんなことを言うのですね。
- ◎ ペットボトルに気持ちを書いたものを貼り、袋に持たせる体験がとてもすごい効果があるだろうと驚きました。
- ◎ 自分がトレーニングを受けることによって、困っている子どもの気持ちが体験としてよくわかりました。わかると何の手伝いができる力、方法が見つかるような気がしました。先生の話に出ていた子どもが自分の身近にいる子どもと状態が似ていて今置かれているその子の状態が理解できました。こういう研修に出るといつも落ち込みがあるのですが、自分にも偏った考え方があるなと思い反省します。
- ◎ 現場では特に通常学級も含めて支援のいる児童が増えているが、手が足りないのが現状です。急にキレる、暴言を吐く、学校のを壊す、教室で暴れる・・・刑務所で一人300万円かかると言われましたが、教員を増やす、1学級の人数を減らす（35人、30人学級）、支援学級の定数を減らす、ダブルカウント復活なども大切だと思います。すべて発達障がいとみない考えも大切だと思いました。子どもたちが自分の人生を生き生きと生きていけるようがんばらなくてはと思いました。
- ◎ 発達障がいについては、研修の機会から少し学ばせてもらっていましたが、宮口先生の講演内容には改めてハッとさせるキーワードや具体策があって、とても有意義な研修でした。認知トレーニングってすごいなと驚きました。クラスのグレーゾーンの子もたちだけではなく誰にでも必要な大事な訓練で楽しみながら鍛えられると思いました。初めに少年院に入所する子どもたちを小学校の教師が介入することで止めて欲しいと言われました。心に残っています。少しでも子どもの困り感を解決できる支援を続けたいと思います。
- ◎ とても勉強になりました。先生の話されている子ども像がまさしく自分が見ている児童と重なりました。どうか、その子が、生きていきやすいようにと、いろいろな支援の方法を試行錯誤しています。どのような困り感があるのかを、まず教師がいろいろな方法を持って見極めていくことや、その子にあった支援が必要であ

ることが本当に分かりました。対人マナーや身体の動きなども具体的なトレーニングを知ることができ、本当によかったです。学校現場で今日の研修を生かしていきたいと思いました。

- ◎ 宮口先生のお話を初めて聞かせていただきましたが、本当に目からウロコの勉強になりました。今まで、いろいろな支援教育の研修を受けてきていますが、実際の少年院の子どもたちを支援されてこられての実践のお話はたくさんの納得や発見のあるものとなりました。子どもたちの顔を浮かべながら聞かせていただきました。
- ◎ 宮口先生のお話は具体的で、私が見過ごしがちな基本を気づかせていただけました。認知の弱さが、聞く力、見る力、時間認知の弱さとして現れていること、そのトレーニングについても具体的で、とても安心しました。
- ◎ 発達障がいの子どもの理解をする上で、主に認知機能の弱さという切り口からお話をいただいて、自分の中で新鮮な考え方がたくさんあったなと感じています。いくら言っても変わらない、できない子どもに認知トレーニングをすることが、優先されるべきというお話にすごく納得しましたし、実践に活かさせてもらおうと思いました。
- ◎ 今日のお話大変参考になりました。勉強をわからせてあげることの大事さとともにきちんとしたトレーニングを積み重ねることで、子どもの理解力があることを知って、今までのやり方をすごく反省しました。ぜひ、ソーシャルスキルへと取り入れていこうと思いました。
- ◎ 具体的な支援の例が提示されていて大変良かったです。今支援学級担任（中学校）として、主に軽度発達障がいと言われている、生徒の支援をしています。個々の生徒で思い当たることがたくさんありました。支援学級の生徒ではありませんが、授業中教室に入らず、校内をうろついている生徒や職員室に逃げ込んでいる生徒、教師や生徒に暴言を吐く生徒…沢山の支援を要する生徒がいるのが本校の実情です。彼らに対しても特別な支援が必要と思われるのですが、なかなかルールに乗らないというのが実情です。）
- ◎ もっと早く宮口先生の実践に出会えたら、救ってあげられる子が増えていたのに…本も買ってすぐに実践、継続していきたいと思います。
- ◎ 教室内でのトラブルや、万引きなどの生指上の問題など、様々な問題が起こる中で、生徒のかかえている困難の本質に気づき、支援していく必要を切に感じています。今日の研修は、生徒のかかえている困難さや、それに対する具体的な支援がとてもわかりやすく、来週から役立ちそうなことが多々ありました。宮口先生の「加害者も被害者もつukらないために一緒にがんばりましょう」という言葉、まさにそう思います。

## **B** 障がいのある子どもの性と生 ～明るく元気な性教育をめざして～

高等部卒業後の学びの場「ぼぼろスクエア」 千住 真理子氏

- ◎ 正しい知識を知ることができ、とても勉強になりました。
- ◎ 具体的に教えていただいたので、実践していきたいと思います。
- ◎ とても良かった。特に「快」と「不快」を知るために、「快」をたくさん経験させるという考え方は、明日以降実践していきたい。
- ◎ 性について学校での取り組みはまだ十分にできていないと思う。学年から取り組んでいきたいと思いました。
- ◎ 人生の中での少しの日時での関わりの職業ですが、この少しの関わりの中でもできる事は少しずつでもやらなくては行けないと新たに思いました。
- ◎ 一生の中での自己の性と生、話を聞かせていただき、子どもたちの取り組みの様子実態等のビデオ、笑顔が安心感が分かりとても良かったです。
- ◎ 自己決定・自己肯定感を育てる。快・不快が分かる…快をたくさん体験させる。形容詞言葉もたくさん教えることも必要であると思いました。
- ◎ よく生きるために性教育が大切なことを勉強しました。「正しい情報で、科学的に」「『快』をたくさん体験し共感していく」ことも大事にしたいです。保護者や同僚ともゆっくりしっかり話し合っていきます。
- ◎ 支援学級で性教育の授業をしたことがなかったので、今日の千住先生の講演を聴いてとても勉強させられました。現場に戻って役立てたい。

- ◎ 性教育についての認識が大きく変わりました。この短い時間でこれほどたくさんの性の用語を聞いたのは初めてでした。隠したり、ごまかしたり、後回しにしたりすることは、子どもにとって良くないことで、正しい知識をきちんと与えて行かなければならないと思いました。それは障がいの「ある・ない」に関わらないと思いました。また、子どもを否定的に指導するのではなく受け容れて、正しい方法を教えていくべきだと感じました。
- ◎ 障がいのある無しに関わらず、まだまだ性について知識を正しく伝えられる『大人』が少なく、学校教育としても取り組めていない、課題であると感じました。特に不安を大きく感じてしまう障がいのある子どもたちに自分を大切にすることとして性教育を学ばせていかなければいけない（教員としての責務）ということが分かりました。
- ◎ 非常に納得のいく、分かり易いお話でした。子どもの姿を大らかに受け止め、正しく導いていく取り組みですね。取り入れられる部分を活かして実践していきたいです。
- ◎ 支援入級の女の子が性被害にあう事件があり、それ以来「イヤ」と言える子どもを育てていこうとの思いのもと学年全体で性教育を進めています。支援学級の子どもにも性教育を行わなければならないと思い『自立』の時間に少しずつ始めています。今日教えていただいたことを活用しながら『自立』の学習を行っていこうと思います。「自己決定」できる子を育てていくことを大切にしながら再スタートしていきます。
- ◎ 性教育の時間は支援学級に降りてきているが、また理解できていない生徒がいます。常にキスをしようとしていたり、お友達の胸をもんだりします。このような生徒にどのように教えていくかが分かりません。おそらく自分の体の変化すら分かっていないと思います。性教育を支援でやって、分かり易く説明したところで理解できるとも思いません、ですが、やはり抑えられない性の気持ちをコントロールできるようにしたいと思います。どうすればいいかは分かりませんが・・・。
- ◎ 関わっている生徒が、気引き行為でパンツに手を入れようとする関わりを持つことがあり、気引きと分かっている部分では注意して違う行為にうつれるような声かけをしたりしていましたが、正しいマスターベーションの方法も教えていく必要があるのではないかと・・・ということで今回受講させていただきました。性教育の狙いが、快・不快やタッチングにもあることを知り、もっと深く知りたくなりました。
- ◎ 来年、性に興味が強い男子生徒が来るという話を聞き、今日聴きにきました。実践します。できるかどうか不安ですが・・・。
- ◎ 自分の関わっている子どもたちの顔を思いうかべながら利かせていただきました。さいころゲーム（ふれあい）を早速やってみたいと思います。少しずつでも性教育を始めていこうと思います。「楽しく過ごす」時間をたくさん作っていききたいと思います。
- ◎ 参考図書・教材なども紹介して欲しい。

## **C ユニバーサルデザインの授業づくり**～みんなが『わかる・できる・使える』授業に向けて

大阪府教育センター 主任指導主事 石村 和彦氏

- ◎ 学習指導要領を学び直そうという意欲がわいてきました。
- ◎ 具体的な例(わかりやすい例)をたくさん出して下さり、とても興味深く聞くことができました。ユニバーサルデザインは、めあてではなく、あくまでも手段であること。学びの本質をしっかり持つておくことが大事だということがよくわかりました。めあてを達成するための手段の引き出しをたくさん持っていることも強みだと思うので、そこもこれから学んでいかないといけないと思いました。また、学習指導要領も大切(めあてを下げない)と、改めて考えさせられました。
- ◎ どんなメソッドを活用しても子どもへの愛情がなければ、どんな子どもでもそれを見抜くということがとても共感しました。
- ◎ 悩んでいたことの解決策が少しずつ見えてきました。疑問や矛盾がスッキリしました。
- ◎ 支援学級の子ども達に勉強を教えています。今日の講義で支援についてはじめて納得できました。子どもたちにどのような授業を組み立てたらよいのかもっと聞きたかったです。

- ◎ 文科省、府教委のHPもじっくり見て研修します。
- ◎ 今求められる授業、支援の在り方、自分自身でどう取り組んでいけばいいのか。方向性を示してくださったことに感謝です。
- ◎ アクティブラーニングの話を少し詳しく聞けてよかったです。
- ◎ 授業のはじめに「めあて」を明確に伝えること。課題解決型の授業づくりが大切だと改めて思いました。
- ◎ 発問の仕方一つ一つが子どもたちの学習意欲を上げる立派な支援になるのだと感じました。
- ◎ 目標と手段を取り違えない。目標に到達するための手段がユニバーサルデザインという言葉がとても心に残っています。思考力・意欲を高める授業を明日からやっていきます。
- ◎ 課題解決型学習を通して、思考力・意欲を高める授業をどれだけできるかわかりませんが、明日からやっていきたいです。
- ◎ ユニバーサルデザインについての研修は、今までにいくつか受けてきましたが、今回はその定義、今求められている学習に合わせた、1つの手段としての学びがあり、本当に勉強になりました。支援をすることで、めあてを下げるのではなく、そのめあてに沿ったユニバーサルデザインを必要に応じて取り入れていくことが大事ということが分かりました。「厳しい挑戦の時代」という言葉は、とても心に残りました。私たち教育者が、担っている重みを改めて感じるとともに、「情熱」を持って、これからも子どもたちのために、毎日を大切に頑張りたいと思いました。
- ◎ 初めに大学の先生の資料の音を聞いた時に、「予測できていると内容がこんなにも聞き取れるのか。」とびっくりしました。私は聴覚特別支援学校で通級担当をしています。その関係で出前授業によく行くのですが、「この音の聞き取りを使えたらいいなあ。」と思いました。ユニバーサルデザインについては、何でもユニバーサルにするのではなく、指導要領のねらいをきちんとしておかなければいけないことがよくわかりました。時間が2時間でしたが、もっと長い時間研修を受けたいです。
- ◎ とてもよかったです。大阪の授業スタンダード一昨年読ませてもらいました。もう一度丁寧に見ようと思います。「くちばし」の授業の交流で他の学校の先生と交流できたのもとてもありがたかったです。たくさんの内容本当にわかりやすく、心にしみるように伝わってきました。
- ◎ 色んなお話を聞かせていただいて、自分は淡々と授業を進めてしまっているなど反省しました。たくさんの手立てを教えていただいた中で、まず「思考を促す言葉の例」を提示する事から始めてみようと思いました。まだまだお話を聞かせていただきたいという気持ちでいっぱいです。
- ◎ 授業づくりにおいて、子どもたちのやる気を出させる方法や思考を促すしかけなど、UDLが大切だとわかっていても、どうやっていいのかわからない、どの点に注意しながら進めていったらいいのかが、わからないことが多かったので、今回のお話でスッキリいく部分がありました。本当にありがとうございました。
- ◎ とてもよかったです。校内研にぜひ来ていただきたいです。質問を書かせていただいたことも入れて頂きとてもスッキリしました。どのように学ぶか、どんな力をつけさせたいのか…はずっと前から言われていたことですが、UDはブームというか、取り入れればよい…という感じが周囲には、よくあったので、今日のお話を校内で共有したいと思います。「くちばし」の授業、とても楽しくなりました。
- ◎ 近年と近未来の授業の方向性について知り、考えさせていただく内容で、つけさせるべき本当の学力の全体像、学びの本質がおぼろげながら見えてきた気がします。
- ◎ 今日は授業づくりで大切にすることをたくさん学ばせていただきました。私自身、国語の教科に対する教材観、指導観をしっかりとておらず、今日のお話で気づかされることが多々ありました。
- ◎ 話し方が素晴らしく、子どもへの授業が、興味づけなければいけないことがよくわかる講演でした。言語活動の活用には少し時間が足りませんでした。導入段階が必要必然でした。さらに時間があればという思いで一杯です。子どもが大好きやあ！ だからこそ授業ができる、子ども一人ひとりのために授業が考えられるそんな思いがつのりました。
- ◎ とても楽しい話であったという間でした。身近な話を聞いて、指導要領をもう一度読み直さないといけないなと考えさせられました。
- ◎ もっともっと聞きたいぐらいです。楽しくわかりやすくなるための研修でした。また機会があれば絶対聞かせていただきたいと思いました。いっぱい笑わせてもらいました。授業に活かしていきたいと思います。

**D 就労を通じて社会的自立をめざす本校の取り組み**

大阪府立たまがわ高等支援学校 富永 誠校長先生、寺田侑平先生

- ◎ 高校を卒業してからの子どもたちの進路はとても気になります。先生たちの努力と企業の方々の理解で少しずつ広がってきていると感じました。基本的な生活習慣、コミュニケーション、素直さ、小学校段階からつけていけたらと思います
- ◎ 学校の様子をていねいに教えていただき、ありがとうございました。わかりやすく、子どもたちが通うイメージができました。きめ細かな指導をされていることを知り、少しびっくりしました。中学校の対応がとても雑なように感じました。反省します。このような高校があることが心強いです。中学校でボーダーラインの子どもで、たまがわ支援に行くということで、いきいき通学できそうな姿がイメージできました。
- ◎ たまがわ高等支援学校の取り組みや放送されたテレビ番組を通して子ども一人ひとりに応じた指導はとてますばらしいなと思いました。以前、学校見学に行った時の授業の様子から指導者の指示をよくきいて、テキパキ、真剣に課題に取り組む生徒の姿がとても印象に残っていましたが、今日の報告から生徒指導上の問題もおこっているときいて、とてもおどろきました。就労に向けて様々な角度からの指示・支援を各段階ごとに継続していくことが大切だなと感じました。
- ◎ たいへん丁寧にご説明いただき、分かりやすかったです。就労に向けて生徒の皆さんだけでなく、先生方のご苦勞を感じ、頭の下がる思いです。就職先の開拓は本当にたいへんなお仕事ですが、生徒さんたちの一生懸命さがあるからこそ、先生方も頑張ることができるのだなあと、あたたかい気持ちになりました。近年、支援学校と同じ敷地に開校される高等学校が増えていますが、見学させていただくと広さ、設備など、とてもたまがわ高等支援学校とは違っており、うらやましく思います。生徒たちは本当に一生懸命がんばろうとする子が多いので、これからは社会全体が生徒たちの就労を積極的に考えていくようになってくれることを強く願っています。お話の中の女子生徒Aさんの話は心痛みましたが、このケースは中学校段階での進路指導の問題だと思います。「中学生に進路を決めさせるのは無理と思うが」という発言もありましたが、私は最終的には本人が決めなくてはならないと思います。そのために何度も話し合っ、これまで必ず本人に決めさせてきました。そして、みんな楽しくそれぞれの学校で頑張っています。
- ◎ 高等支援学校は厳しいんだなということがわかりました。多くの生徒は普通高校へ行き、就労についてはまだ先の話という感覚であるのに、支援学校では一年生から職場体験をして、社会に出て行く準備をする。ハンディがあっても生かせる腕がある。企業はそれをしっかり見抜き採用する。自分が他の人と違って生きにくい部分があることを自覚し始める年齢。それでも頑張る姿に心打たれます。私も支援学級で数学を教えています。習熟度の違いに授業を試行錯誤しています。計算力をつけたいと思うのですが、なかなかうまくいきません。
- ◎ 今、教えている子ども達の将来はどうなるんだろうと思っていましたが、少し明るい未来が見えて来ました。
- ◎ たまがわ高等支援学校の現状を知れて、どのような支援が生徒に目標をもたせることができるのか、光がみえた気がします。具体的なお話もありがとうございました。
- ◎ 学校説明は進路担当学年で説明を受ける機会があるので、実践・実態をもっと聞きたかった。ビデオは感動して涙が出てしまった。たまがわ高等支援の指導の手厚さをありがとうございました。
- ◎ HP(ホームページ)での校長だよりのアップが少なくなっていたので、卒業後の進路状況が分かってよかった。また、卒業後のアフターケアについての説明も聞けてよかった。保護者の方々のたまがわ高等支援学校への信頼はあついです。しかし、ミスマッチが起きないように丁寧に学校の特色と本人の希望を汲み取って進路指導していくことが大切だとわかりました。
- ◎ 疑問に思っていたことにも適格に答えていただきありがとうございました。

→ アンケートのまとめの中で、「本校HPの校長だよりのアップが少なくなっている」とのご指摘について、講師の方から、次のようなご説明をいただきましたので、補足いたします。

☆ 現在は、「校長ブログ」に変更し、よりタイムリーに本校情報をアップしています。  
学校HPから「校長ブログ」に入ることができるので、そちらを見てください。

**E** 算数に苦手さのある子どもへの支援 ～脳からみた算数の学習とつまずき解消法～

DDサポートひらかた コーディネーター 近藤 春洋氏

☆ どういう所でつまずいているのか、具体的なお話と手立てのこと、具体物を用いての学習のこと、DVDのことなど、多くの方から感謝の記載がありました。

- ◎ 算数が苦手だといふ下学年の簡単なものにもどっていましたが、イメージをふくらませる指導が必要ということがよくわかりました。ただ、何でつまずいているのかを判断する力を指導者がしっかりとっていないといけないと感じています。特に通級担当していると週に1時間しか本人に会えないので、自分の考えている支援があっているかどうか不安になっています。
- ◎ 算数障害とは？を初めて、きちんと知ることができました。脳機能のことも知れて大変勉強になりました。教材紹介で「あわせましょうわけましょうカード」は早速作って実践してみたいと思います。
- ◎ 聴覚認知の問題の研究会はよくあり参加してきましたが、算数については初めて聞いてとっても新鮮でよくわかりました。今もっている子が量のイメージが出来ていないのがなぜなのか分からないままドリル学習をさせていたなあと反省しています。
- ◎ 算数障がいという状態を理論的に理解することができました！ 算数の学習で、今後も常に具体的に操作をとらせたトレーニングを続けていくべきだと、しっかり裏づけを頂きました。数のまとまりなどのイメージは具体物を経て、くりかえしの段階においてアプリケーションを使ってアニメーションで示してあげることがとてもわかりやすく良いなと思ったので、ぜひアプリを使わせて頂きたいです！ 先端の研究資料、事例をもとに非常に説得力のあるご説明、そしてポイントをていねいに強調して伝えて下さり、またとてもわかりやすいお話の構成でした！！
- ◎ どの学校でもどの教室でもいる算数の苦手な子どもの支援について近藤先生が1つ1つくわしく教材で指して下さったのがとてもよかったです。つまずいていることがすべてあてはまりました。ただ、安原クリニックのように児童一人に先生が一人ついていけるわけでもなく一人の（パソコンが教室にない 教師が一度に5名ほど）を指導する場合、くわしく指導できないのが残念です。
- ◎ 既往研究の引用をされていて根拠がしっかりされていると思います。内容も新しく、聞いてよかったです。算数教育に光が見えた気がします。
- ◎ 算数に苦手さのある子どもへの支援の仕方を具体的に教えていただき、修業でなく、やる気をもって取り組める教材についてよくわかりました。明日からの実践に生かしていきたいと思います。
- ◎ ストラテジー型学習の内容よくわかりました。ここまでのお話も納得しました。教材についてもとても参考になりました。1人の生徒に一週間にどれぐらいの時間授業をされているのか、また、家庭学習はどのようにさせているのかと思いました。中学生ですが、くり上がりの足し算・かけ算・わり算もできるのですが、よく間違えます。今日、先生が話して下さったような授業をしてやればもっと確実にできるようになるだろうと思いますが、横について教える時間が足りませんし、家庭の協力も得られないので困っています。でも、彼がなぜ現在の状況になったかは、今日のお話を聞いてよくわかりました。
- ◎ 算数が苦手な子どもに対して、脳という切り口から支援していくお話はすごく新鮮でした。なぜ出来ないのかを理解して、適切な支援をするという言葉がすごく心に残っています。
- ◎ 今、自分が子ども達にしている支援方法があっているのか、本当に本人のためになるのか考えさせられた2時間でした。算数障害だからといって諦めることなく、どこにつまづきがあるのか見極め、スモールステップが大切だと感じました。近藤先生の教材は生活につながることで、「本物」と使う事を大切にされていて、真似させてもらおうと思いました。HPも参考にさせていただきますね。
- ◎ まさに先生がおっしゃっていた「3N」（でけへん、わからへん、しらん）という子どもへの適切な支援を模索中。今日は色々とヒントをありがとうございました。先生の100円玉シートの話で、かつて1000円を実感させるため1円玉100枚シートを10枚作ったことを思い出しました。

- ◎ どこまでできているか、何はできて何は出来ないかなどのチェックはこれまでもしてきた。でも、あーここでつまづいているのか！？と分かっても手立てや支援のレパトリーが乏しく、「とにかくくり返し練習！！」をやってしまったな…と反省しました。つまづきをのりこえるためにはスモールステップで楽しんでとりくめる反復が大切とわかりました。
- ◎ 脳から見た算数学習は、数字と量がむすびついていない子はそうだったんだ！！機械的に覚えさせるだけではいけない！！と思いました。アセスメントぜひしてみたいです。3、4年でしんどくなっている子は、1、2年生何となく覚えて出来てきただけで、理解していたのではないとわかりました。
- ◎ 今の子たちや算数を苦手としている子たちの実態を思い浮かべながらお話をうかがわせていただきました。算数がしんどい子が今、ほんとに多く、どんな方法を使えばわかるようになるか日々悩む所です。今日のお話を参考に、1人でも多くの子にわかるように努力していきたいです。
- ◎ 脳レベルで算数が困難な場合、まずは原因を把握し、それに応じた課題を提供していかなければならないと思いました。やはり具体物を利用した支援が効果的であることも感じました。話を聞きながら私が担任している児童にはどんな手立てが必要かとあれこれ考えることができ、楽しかったです。
- ◎ 本当にびっくりです。支援にたずさわりながら細かな支援が出来ていないなあと反省しています。先生が無償でソフトを提供してくださることに感動です。さっそく申し込みたいと思います。
- ◎ とても沢山の内容をわかりやすく教えて下さいました。どれも明日からの学習に生かそうと思いました。まずは復習のために先生のホームページを見せて頂いて、作れる教材は作ろう！と考えて居ます。5年間ず〜っと1ケタの足し算をしていた男児の話は自分のようで耳が痛かったです。授業での工夫（有効な）を沢山教えて頂きました。
- ◎ なぜ子どもが出来ないのかを考えること、そして、その子に合ったアプローチを考えることがとても大切であるということがわかりました。ソフトだけでなく身近なもので出来るアプローチも紹介していただけて良かったです。作成して実践してみたいと思うものがたくさんありワクワクしています。
- ◎ 脳から見た算数学習ということで、なぜできないのか、わからないのかを科学的に見て適切な支援ができるということがよくわかった。具体的な例を見せてくれて更によくわかった。さっそく実践できるものがたくさんあり、とても助かるし、ありがたい。数と量がつながらない子と、また明日から頑張ろうと光が見えた。しかし人間の脳はすごいですね。アプローチをしっかりとるとのびる力がわきました。
- ◎ 今、1年生担任として算数が苦手な子（複数名いる）と関わっています。本日のお話はとても参考になりました。教材作りのアイデアはいつもすごいなあと学ばせてもらっています。
- ◎ 夏にも聞かせていただきました。本当に具体的に実践的な教材も教えて頂いて本当に、目を見開いて聞きました。どうすれば良いのか、かかわっていく中でいろんなやり方をしていくけれど、なかなか……。これを生かして、楽しくとりくんでいきたいと思います。
- ◎ 算数の学習支援に必要なことを具体的に例を示して話して下さいました。苦手さのある子どもの種類を見極め、それに応じた支援の方法があることもよくわかりました。具体的な操作活動によって暗記でない生活に結びつく算数ができるのだとよくわかりました。
- ◎ 算数障害の子どもへの有効な学習支援法（具体物操作や空間認知など）がよくわかりました。また、具体操作とコンピューターでのアニメーションとの融合がとてもイメージしやすくいいと思いました。
- ◎ くり返しくり返し教えても、本人もまじめに頑張っているけど数日すると忘れてしまう。なんでやろ？のなんでがわからなかったけれども今日よくわかりました。DVDまで提供して頂けるなんてありがたすぎます。さっそく校長に頼んで申し込み、子どもに応じて考えて取り入れてみます。具体物もがんばって作ってみます。

**F** 研究部担当 各地区からの実践報告**外部専門家と連携した支援・指導の取り組み**～「自立活動アドバイザー派遣事業」を通して～

堺市立上神谷支援学校 島津 雅子先生、井上 有里先生

**支援学校高等部における音楽授業のユニバーサルデザイン**

大阪府立八尾支援学校東校 山本 耕平先生

- ◎ 2枚の実践報告すばらしかったです。
- ◎ 他校の取り組みを知れて参考になりました。
- ◎ 子ども一人ひとりのことをよく考えて、その子にあった支援を考えることで、子どもが過ごしやすくなると感じました。
- ◎ 支援のヒントをたくさん知れてよかったです。
- ◎ 日々のたいへんさのなかでの取り組みいろんな方法での実践に頭が下がります。
- ◎ 今後いろんな取り組みをアドバイスをうけながらみんなで共有していくことの大切さを改め思いました。
- ◎ 支援学校での活動内容より、一般小学校でも使える支援をいただきました。研修会の参加をこころがけて参加していくことの重要性を改めて感じました。
- ◎ はじめて知ることたくさんあり、とても有意義な時間をすごせました。
- ◎ とても熱心にいろいろな工夫をされていて参考になることが多かったです。
- ◎ 専門家のアドバイスを受けて、支援の工夫をすることで、このように子どもの様子が変わっていくんだということが、よくわかり専門家との連携との必要性を強く感じました。
- ◎ 自立活動アドバイザーの活用について、実践報告が聞けてとてもよかったです。児童の「課題における原因把握」がとても大切だと改めて思いました。
- ◎ 本校でも外部専門家に自立活動のアドバイスをいただいています。担任や学年のつなぎの工夫に困っていましたが、相談内容をビデオレターにするのは使えるかなと思いました。
- ◎ OT・PT・ST等、市の療育センターの専門家の方が1名の児童に対し年3回巡回相談に来校してくださいます。専門的な知識を持たないまま、指導していただき、何とか日々の学習にでもいかしていくことができると考えています。年3回の相談日の中で何を最優先すればいいか、迷いながらの毎日です。しかし、今日の取り組みをお聞きしもう少し能動的に専門家の方と交流をし、児童の課題を整理していきたいと思いました。
- ◎ 先生が、コンピューターのパワーポイントなどを使っていろいろな工夫されていることがよくわかりました。
- ◎ 音楽の授業での動機付けがしやすい子もいれば、難しい子もいて、今回の内容を参考にさせていただきたいと思えます。
- ◎ 見通しによる主体的な参加を促すユニバーサルデザイン化が大切だと思いました。
- ◎ 子どもの学習意欲を引き出すことをついつい忘れていた気がしました。



**2. この研修会の運営全体についてのご意見をお書きください。**

(参加申し込み～事前準備～当日運営 その他)

- ・土曜日の研修のため、授業に影響がなく、ありがたいです。
- ・冬季研修会の案内をメールで知ることができたので、今回の大会に気付くことができました。
- ・A講座と講座名が看板で上がっているとわかりやすい。
- ・学校に研修会の案内が届いたのが1週間前だったので、申し込みを余裕なくしてご迷惑をおかけしました。
- ・ネットでの申し込み、メールでの確認、どちらも利用しやすかったです。
- ・インターネットでの申し込みは同僚にやってもらいました。FAX等もあればありがたいです。
- ・申し込み確定メールに、Webサイトのアドレスを入れていただけると嬉しいです。
- ・2F・3Fの場所が分からなかった。しっかりスタッフは分かっていた欲しかった。(案内する側の姿勢)
- ・申込制なのは少しきついです。小さな子がいるため、申し込んでも参加できないかもしれないと思うとハードルが高かったです。
- ・Cの分科会でメモ用紙があり助かりました。
- ・今回初めて参加しました。初めて学校に来ている案内を見ました。もし良ければ、今回申し込みましたメールアドレスに、これから案内いただけると嬉しいです。また会場は交通便利な所でたいへん助かりました。
- ・申し込みがホームページからだけだったので、FAXもOKにしてもらえるとありがたいです。
- ・ドアのところにもA・B分科会〇〇と張り紙があると来た人たちも入りやすいように感じた。
- ・いつも研修会を企画していただきありがとうございます。場所も高津ガーデンということで、アクセスもとても便利でした。部屋もとても快適でした。
- ・集中して話を聞けて良かったです。
- ・1月下旬や2月の研修会では、学校に持ち帰って実践するのが難しいので、1～2学期前半までに会を設定して欲しい！！4月に異動や担当が変れば、本当に活かさきれないので研究会で日程をご検討ください。(9月の連休や土曜までがうれしいです。)
- ・毎回内容の濃い研修会で参加させてもらってとても役に立ちました。今日、この場に来てよかったです。
- ・申し込みの段取りがわかっておらず、当日参加という形になってしまいました。担当の方には、ご迷惑をおかけしました。希望していたところには参加できませんでしたがFで教えていただいたことも大変参考になり勉強になりました。
- ・2時間がもったいなく思いました。もっと聞きたい気持ちが大きいです。
- ・研修会の機会を与您いただきありがとうございました。
- ・午前も午後も貴重な研修会となりました。メールの申し込みは、簡潔ですが、ご担当にとっては、一人一人の発信なので大変な作業だったと思います。

**3. 大支援研として、これから、どのような研修会や講演会を行えばよいでしょうか。**

できれば、具体的なご提案やご意見をいただければ、幸いです。

- ・教材や教具(IT教材・IT教具)や指導法の交流。
- ・本日のような具体的な手立てもお話し下さるような講演がありがたいです。実際にできることがはっきりわかると取り組みやすいです。(Aの分科会) えんぴつの持ち方などから分かる子の特性を知った上での手立てを教えてください。
- ・今年度、宮川医療少年院の見学会にはずれました。ぜひ行きたいので来年度も企画していただきたいです。
- ・施設見学がしたいです。
- ・みんなが話し合える(悩みとか)そういう講演会や研修会があればいいと思います。
- ・今日の性教育の話は毎回するべき。通常学級の先生たちにも聞いて欲しい。
- ・『性と生』は、続けて欲しいテーマです。

- ・ SNSの生徒への指導について・取り組み実践等のミクロと先行研究や他地域・国などのマクロな視点の両面を合わせて研修会を行っていただきたい。
- ・ すぐ実践できる具体的な研修がありがたいです。
- ・ 土曜日というのは、逆に学校に残してきた児童のことを心配せずに参加できるという利点もあって、たまにいいなと思いました。
- ・ ICF(国際生活機能分類)の観点から、インクルーシブ教育・支援教育の重要性を話題にしてほしい。
- ・ 愛着障がいに関するもの
- ・ ビジョントレーニングの実践 北出勝也氏(音楽「Green」の曲)
- ・ 宮川少年院への見学は抽選漏れで行けませんでした。今回、宮口氏の講演会を聴けて、具体的な実情を把握でき、自分の日々の実践を振り返ることができました。今回も、申し込むのが遅ければダメだった場合は資料だけでももらいたいだろうと思います。そのような措置はできるのでしょうか。
- ・ たくさんの講座があっても受けたいです。AMは9:00～90分の2コマ、PMも90分2コマで16時くらいまでの4講座にして欲しい!学校見学会もかねて会議室ではなく支援学校を会場にして欲しい。
- ・ 理論的なことだけでなく具体的なアイデア・ヒントも盛り込まれた内容はとてもありがたく、私もやるぞとパワーになります。
- ・ 参加される先生方をみさせていただくと、ベテランの先生が多いように感じました。教育行政の変化、ICT活用など今後とも発奮材料となるよう研修会よろしくおねがいたします。
- ・ 今年度して頂いた研修内容のような現場の教育に即、生かせる内容が役立っていいと思いました。
- ・ 具体的な教材を実際に作ったりするのもいいなと思いました。
- ・ 今後いろいろなことを知り日々の実践について一つでもやっていけることを講演や研修で学んでいけたらと思います。
- ・ 専門家の視点、現場の視点、行政の視点など様々な視点からの支援の取り組みについてのシンポジウム。
- ・ 軽度発達障害の児童が多く課題の違う児童が複数名同時に個別・少人数を受けに支援学級にきます。おそらく、地域の小学校の支援学級に在籍している児童の多くはそういう形で通常学級と支援学級を行き来していると思うのですが、担任1名で児童が4から5名同時にくるとき、(しかも教科学習を保護者が希望しておられる場合)どのように指導しておられるのでしょうか?指導方法の工夫を教えてくださいたいです。発想の転換が必要かも・・・と思いつつ日々の忙しさに1日1日が過ぎていくのが現状です。

※ アンケートにお書きになられた貴重なご意見に対して感謝申し上げます。  
今後の参考にさせていただきます。

- ☆ 参加申し込みについて、準備の関係で事前の申し込みをお願いしています。煩雑さを避けるため、インターネットのサイトからの申し込みに一本化させていただいております。ご理解ください。  
もし何か事情がある場合等は、大支援研のサイトのトップページの「お問い合わせ」、あるいは担当者へFAXで連絡をお願いします。
- ☆ 当日の運営について役員が十分な対応できなかった点など、今後の改善を目指します。
- ☆ 大支援研ニュースを府内各校にメール配信していますが、不十分なところもあり、そのために情報が伝わっていないとも聞きます。今後の改善の検討が必要と考えます。  
一部市町村や支援学校などで、関係教職員にメール転送されているところがあり、それで知ることができた、という声もありました。各市町村・学校でご協力いただいていること感謝します。